

# 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 表在型非乳頭部十二指腸腫瘍 (superficial non-ampullary duodenal epithelial tumor ; SNADET) に対する内視鏡治療の検討

## 研究の目的

### 1 研究の目的

近年表在型非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍 (superficial non-ampullary duodenal epithelial tumor ; SNADET) が増加してきていますが、頻度の低さから症例の蓄積が困難です。SNADET に対する内視鏡治療は治療後の負担が少ない点から積極的に施行されますが、難易度が高く、合併症の頻度も高いとされています。近年水深下で内視鏡治療を行う underwater EMR (UEMR) が様々な施設で施行されていますが、有用性や安全性についての検討はまだ十分されていません。そこで、今回当院で SNADET に対し内視鏡治療が施行された症例を後ろ向きに解析し、有用性や安全性について検討します。

2010年1月から2024年3月に当院で SNADET に対し内視鏡治療が施行された患者さんに対し行います。期間内に SNADET に対しコールドスネアポリペクトミー (cold snare polypectomy : CSP)、内視鏡的粘膜切除術 (endoscopic mucosal resection : EMR)、UEMR、内視鏡的粘膜下層剥離術 (endoscopic submucosal resection : ESD) が施行された患者さんの患者背景、局在、切除径、切除時間、治癒切除率、合併症について比較検討を行い、それぞれの治療法の特徴や、特に近年施行されるようになった UEMR の特徴について明らかにすることを目的とします。

**研究実施期間：** 実施許可日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日

## 対象者

2010年1月から2024年3月に当院で SNADET に対し内視鏡治療が施行された患者さん。

## 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

前述した対象となる患者さんの内視鏡治療方法、成績について検討します。

患者背景、腫瘍の治療方法、局在、切除径、切除時間、治癒切除率、合併症などの情報を使用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	<p>弘前大学医学部附属病院 消化器内科・血液内科・膠原病内科</p> <p>助教 澤田 洋平</p> <p>電話 0172-39-5053</p> <p>Mail sawada-y@hirosaki-u.ac.jp</p>
-------	--